

# 道母連だより

## 新年を迎えて



北海道知事  
鈴木直道

新年明けましておめでとうございます。新春を迎えるに当たり、謹んでご挨拶を申し上げます。

社会福祉法人北海道母子寡婦福祉連合会にとりまして創立70周年の節目となる令和7年、皆様におかれましては、幸多き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃から、北海道母子福祉センターを運営され、生活に関する相談やこどもの未来を応援する奨学金の給付、道庁など公共施設での清掃業務の受託による雇用の確保など、きめ細やかにひとり親家庭への支援に取り組まれていることに、深く敬意を表します。

昨年を振り返りますと、1月に

能登半島地震が発生し、日本全国が被災地を案ずる年初となりました。道からも被災地支援のため職員を派遣しましたが、貴会からも寄付金や物資支援が行われたと伺っており、その活動に心より敬意を表します。昨年はその後も地震や大雨などが全国で相次ぎ、さらに、物価高騰の長期化など、道民の皆様の命と暮らしを守る思いを一層強くする年となりました。

夏には、パリオリンピック・パラリンピックが開催され、本道ゆかりの選手の活躍に、道内は大いに沸きました。また、コロナ禍で開催が見送られていた「道母連研修会」が、5年ぶりに盛大に開催

されたという嬉しいニュースもありました。

本年は、全てのこども・若者が幸福な生活を送ることができ北海道を実現するため、新たな条例を制定し、こども基本法に基づく「北海道こども計画」を策定することとしており、現在、お子さんや若者の皆さんのご意見を踏まえて、検討を進めています。

本道の未来を担う子どもたちが置かれた環境にかかわらず、健やかに成長できるよう、今後とも、日常生活の相談や職業能力の向上、経済的な支援など、ひとり親家庭の皆様への様々なサポートに取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年が、皆様にとりまして、希望にあふれた素晴らしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

### 第102号

発行日/令和7(2025)年1月1日  
発行/社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会  
〒060-10031  
札幌市中央区北1条東8丁目 北海道母子福祉センター内  
電話 (011) 261-0447  
●題字は山高しげり先生 ●印刷 樹アイワールド

### 年頭にあたって

理事長 畑 和子

新年あけましておめでとうございます。日頃温かいご理解とご協力をいただき心よりお礼申し上げますとともに、今年もよろしく願い申し上げます。

道母連では、就業自立支援事業や、各地区の子ども食堂、学習塾母子研修旅行などの、子どもの支援の取り組みを行ってきました。

また、全国統一テーマを掲げ、4ブロック研修会を開催、各ブロックのサブテーマに沿って、真剣にそして和気あいあいと笑顔の一日を、出席して伺ってきました。

子育て、仕事、生活と悩みの多いお母さんたちが、孤独、孤立にならないよう、寄り添い、支えていくことを継続していきますが、ここで寡婦の支えも大いに重要としているところであります。

母子福祉センターの改修工事も終わり、安心して、新たな気持ちで利用していただけたらとお待ちしております。

お母さんの笑顔が一番です。明るく楽しい一年になりますように。

## 第68回東北・北海道地区 母子寡婦福祉研修大会に 参加して

参加して

開催日 令和6年9月7日  
場 所 札幌市カナモトホール  
伊達はまなす会

松井 夏美

秋晴れに恵まれた大会は、お揃いのピンクのTシャツを着た札幌連の皆さまに暖かく迎えられ、オープニング演奏にも癒されました。

開会式に続き、「ひとり親家庭等への支援施策について」の行政説明があり、研修討議では各地区代表の7名が熱い思いを語って下さいました。

母子だけではなく、今まで声を上げて来なかった寡婦の貧困問題の実情に対しての対策を考えて行



行政説明 子ども家庭庁支援局  
家庭福祉課 竹内宏和課長補佐

かなければと強く思いました。又、ひとり親としてただ突っ走って生きて行かなくてはい



研修討議 7名の各地区代表

り、自身も押し活などで楽しむ姿を子どもに見せることで、子どもが安心できるような親になりたいと思いました。又、共同親権についての討論では、DV被害者の子どもの話を聞き涙が出そうになりましたが、共同親権が成立してしまった今、加害者に都合の良い使われ方を何としても阻止しなければと思いました。コーディネーターの北海道大学大学院の松本伊智朗先生のお言葉の中に、貧困の子どもを思いやる気持ちが伝わり感動しました。

一日日程ではありましたが、今後の活動に生かしていきたいと感じた大会になりました。

## 令和6年度全国母子寡婦 研修大会に参加して

開催日 令和6年10月27日  
場 所 富山県民会館ホール  
旭川市母子福祉連合会

梶原 美紀

大会へは道母連から11名参加。当日の午後から行なわれ、開会式、行政説明へと続きました。子ども家庭庁の室長より「ひとり親家庭等への支援策」について改定箇所を主としての説明があり、子育てや就業、経済的支援と盛りだくさんの内容でした。討議の中でも「情報の貧困」という言葉が聞かれましたが、支援を必要としている人に周知するにはまだまだ課題があるように思いました。



研修討議 東北・北海道地区代表  
の札幌連の溝江さん(左端)

表でした。それぞれの体験ならではの深い内容で素晴らしかったです。札幌



道母連から参加の皆さん

連から共同親権についての発表があり、DVの父親から逃れた子の意見が代読されましたが、当事者の言葉が胸に刺さりました。本大会においては子どもの利益が最優先されるように関係機関に要望する内容の内の一つとして決議されました。

少子化や会員の高齢化等により、全国的に会員が減少傾向ではありますが、会員同士のつながりや支え合いの大切さ、当事者団体としての役割を改めて実感した大会参加となりました。

最後に年始の震災、9月の豪雨災害と大変な状況の中、大会開催に尽力して下さった関係者の皆様にお見舞いと感謝申し上げます。

## 道母連事業報告



母の日のプレゼントの雑巾作り  
針に糸を通すのも上手です

一つの季節や行事が終わると「来年は……」と反省を含めもつと楽しいことを！と話し合っていました。来年度は江差町との統合で院内保育所がなくなってしまうのが残念でなりません。月日はあつという間に流れてしまうので、残り数か月を子ども達としっかり向き合い、笑顔いっぱい保育を目指します。

## 江差たんぽぽ保育所

令和6年度は5名のスタートでした。少人数ですがそれもこの院内保育所の良いところ！兄弟のように仲良く遊んでいたかと思うとケンカしたり毎日でにぎやかに過ごしています。園庭に小さな畑を作り野菜を育てて収穫したり、保護者参加の納涼会、トンボやバッタを捕まえようと虫網を持って散歩に出かけたり、四季を通して色々なことを楽しんできました。



十五夜のお月見団子作り  
大きさがいろいろです



夏は外で水遊び  
ゾウさんのジョウロです



一番小さい子の1歳の誕生日  
大きな布のケーキでお祝い



日高地区（新冠町）合同会議  
（5月24日）



空知地区（滝川市）合同会議  
（7月5日）



石狩地区（石狩市）合同会議  
（10月18日）

室蘭市にあるセンターでは道央圏（胆振・日高・石狩・空知・後志）の広域5地区を3名の職員で担当しています。

今年度も各地区では、事前訪問、合同会議、就業セミナー、無料法律・巡回相談会等が実施されました。

非正規雇用の多い母子家庭の多岐に亘る就業相談・生活相談等センターの役割は幅広く、更なる活動の充実が期待されます。

センター長 藤本 恭子  
副センター長 廣内 敏子  
就業促進員・相談員 長野 昌志



後志地区（倶知安町）セミナー  
（6月22日）  
「暮らしに香りを～アロマセラピーでリラックス」  
講師 竹内 由紀氏



胆振地区（厚真町）セミナー  
（7月20日）  
「ズンバ 楽しい音楽に合わせて踊りましょう！」  
講師 平川 ひとみ氏

## 母子家庭等就業・

## 自立支援センター事業

## 道北

富良野市白菊会

脇田英里子

開催日 令和6年10月6日(日)  
場所 旭川勤労者福祉会館  
参加数 51名

心地よい秋晴れの中、旭川市で開催された道北ブロック研修会に参加させて頂きました。

午前の研修では「介護保険活用について」と題し、介護保険制度の歴史から、制度のしくみ、自立にむけての講演を拝聴させて頂きました。

団塊の世代が75歳以上となり、国民の4人に1人が後期高齢者となる「2025年問題」が目前に迫っています。子育てをしていた頃には自分の健康について考える余裕はありませんでしたが、加齢に伴い生じる心身の変化を自覚する様になり、健康の保持増進に努める事の大切さを学びました。



「介護保険活用について」講師の高橋聡氏



「いきいき健康体操」講師の山崎哲一氏

午後の研修では「いきいき健康体操」をご指導頂きました。

一人一人の体調に合わせて、無理のない範囲で、時には椅子に手をかけたり、腰を下ろした状態でも可能な体操を多数教わりました。日頃の運動不足を反省し、寒い季節にこそ必要なストレッチを毎日少しずつ続けて行こうと思います。

物価の高騰に追い打ちをかけた令和の米騒動。困難な状況が続いています。研修会に参加された皆さまの笑顔とパワーを励みに、乗り越えて行きます。ありがとうございます。

## ブロック研修会報告

### テーマ 守ろう地域の輪



七宝焼きキーホルダー作り体験

## 道東

佐呂間町母子会

三田 真美

開催日 令和6年10月20、21日  
場所 青年の家ネイバル北見  
参加数 28名

秋が深まり山の色が黄色に染まる北見市常呂での宿泊研修では、広域の2市6町から28名の参加があり楽しい交流の時間を共有出来ました。

20日午後集合し体験学習として「七宝焼きキーホルダー作り」で、皆さん、何十年ぶりの工作に四苦八苦されていましたが、童心に戻り懐かしい時間が流れました。

その後、今後のブロック研修についての意見交換に於いて、道東ブロックは現在、十勝と網走の2



個性あふれる作品の数々

地区しがなく、毎年交互に行うとしても短いスパンではなく長いスパンでの検討も考える必要があると課題になりました。又、東北・北海道大会での意見として、「共同親権の施行」への不安感を取り沙汰されており、様々な観点からの意見が多数あり、それぞれに皆さんが領いておられました。

七宝焼きが出来上がり、こんな筈ではなかったけど自分で作った事に満足していました。

宿泊はサロマ湖鶴雅リゾートでの夕食でしたがバイキングの為、その後の2次会に多くの方が参加して下さり、肩の張らない雰囲気での深い話が出来て楽しく過ごしました。

「また今度ね！」と言葉を交わし、この様な地区での交流の大切さを感じました。

## 道南

室蘭母子福祉会

原 順子

開催日 令和6年7月14日(日)  
場所 室蘭市市民会館  
参加数 95名



講師のてらだあさこ氏



筆ペンで己書体験



室蘭港一周の乗船体験

晴天に恵まれた室蘭の地で全道4ブロック研修会(道南地区)が開催されました。整理収納アドバイザーのてらだあさこ氏を招き、「安心安全快適なくらしをつくる整理収納」と題して自宅の中を安全で快適にする為のヒントを分かりやすく解説していただきました。家の中はつい物であふれてしまいがちです。まずこれからの自分の暮らしを考え、どんなモノに囲まれて過ごしたいか「何を残すか」で選び整理する。そして取り出しやすく収める事が大事との事です。自宅でも活かしてみたいと思いました。

講演の後には二手に分かれました。一方は筆ペンを使用した己書体験です。佐々木牧子先生の指導の下で団扇に「ありがとう」の文字を書きました。参加者は和気あいあいと作品作りを楽しみました。もう一方は室蘭港を一周する乗船体験です。夏らしい日差しと風をうけ、白鳥大橋をくぐり工場群を間近に臨む事が出来ました。親子で参加された方から楽しかったとお声をいただきました。最後に遠方より参加して下さいました皆様に感謝申し上げますとともに、本研修会が無事に終了しました事に深くお礼申し上げます。

## 令和6年度ブロ 全国統一 つながろう人の輪、



講師の札幌薬剤師会江別支部 梅本忠雄氏

## 道央

江別市母子会(こぶし会)

中井 真央

開催日 令和6年9月29日(日)  
場所 江別市総合福祉センター  
参加数 15名

今回、初めてブロック研修会に参加させていただきました。

ヨガをやるから参加してみない?と小高会長にお声がけいただき、久々にヨガで体を動かせることを楽しみに当日を迎えました。

午前は講師に薬剤師さんを迎えての講演でした。娘が生後2ヶ月頃からアトピー性皮膚炎で、最近、自己負担増額になった保湿クリームが当時は無料で、毎日欠かさずお世話になっていたことを思い出したり、PTP包装をハサミで1回分ずつ切り離して、包装ごと

飲み込み、喉で引っかかってしまう事例あるとの話は非常に衝撃で、興味深い内容や新たに知れたことも多く、大変勉強になりました。

午後のヨガでは、ヨガマットなどではなく、どんなヨガなのかと講師の先生の話を聞いていくと、整体とミックスされ、骨をトントンと拳で刺激して骨の周りの血液の循環をよくして、無理なく気持ちよく体がほぐれていくというものでした。体を伸ばすなどの動きもありましたが、激しい動きはしていないのに、次第に全身ポカポカして少し汗ばみ、体の内側から温まり、参加されている皆さんの笑い声が会場内に響いていました。私にとって有意義な時間となり、企画いただいた役員の皆様に感謝申し上げます。



ピーすのパワーヨガのケイコ先生を囲んで

## カフエテラス B o r e n

(水野まゆみ)



365日7:30~20:00の営業を守る6名のスタッフ  
左から2番目が大室かおり店長、右端が筆者の水野さん

ハロウィン  
サンデー

10月31日  
11月1日  
11月2日

10月31日  
11月1日  
11月2日

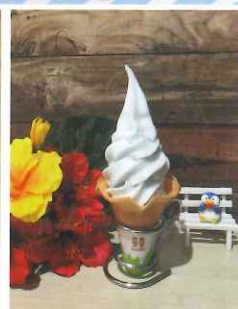
¥600

数量限定

「ハロウィンサンデー」



クリスマス限定  
「きらきらサンデー」



夏季限定  
「ラムネソフトクリーム」

令和6年度共同募金助成金  
は、4ブロック研修会、広報  
紙発行に充当させていただき  
ます。  
ご報告し、お礼を申し上げます。

道母連母子福祉振興基金へ  
ご芳志ありがとうございました  
基金累計額（令和6・11・30・現在）  
一一一、七二七、四三七円

令和7年度全国統一活動テーマ  
「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」

奨学金  
御礼状

[illegible]

釧路市 山岸佳花さん

この度は、畠山桐牙、畠山集軒に對しての奨学金の採用を  
していただき、誠に有難うございます。

この感謝の気持ちをお返し。これなうを頑張ってくださいと  
思っています。

赤平市 富山薫さん

この度は奨学金のご支援を頂きありがとうございます。  
私は看護士を目指しているので、  
頂いたお金を、専門学校への進学のために  
使わせて頂きたいと思っています。

母が忙しく、私が家の手伝いをしていながら  
アルバイトも出来ない、金銭面での不安が  
大きかったり、本当に感謝しています。

ありがとうございます。

1 = 音部 あんず"

室蘭市 仁部あんずさん

## 「夢を応援基金」奨学金

## 「ひとり親家庭支援奨学金制度」

**対 象** ひとり親家庭の中学３年生、高等学校、高等専門学校（１年生～３年生）等に在籍する生徒

- ①ひとり親世帯（母子家庭、父子家庭）であり就学に関して経済的に困難な生徒
- ②夢を実現するための意欲があり、社会への貢献を希望している品行方正な生徒
- ③道母連の会員、及び入会を希望する子ども（生徒）
- ④道母連理事長が奨学生として推薦するに相応しい生徒

**給付額** 月額3万円／1年間（返済不要）

**募集数** 全国 400 名

**お問い合わせ** 道母連事務局  
TEL (011) 261-0447  
月～金／午前 9 時～午後 5 時

## ひとり親家庭奨学生募集

◎「北海道新聞社福祉振興基金・北洋銀行・道母連」奨学金

◎「北海道 CGC みどりところの基金」  
奨学金

**対 象** ①道内（札幌市を除く）に居住し、道内の高等学校に在学中であって成績が優秀な児童で経済上就学が困難な生徒

②その他上記に準ずる状態で奨学金を必要とする事情にある生徒

**給付額** 月額 7000 円 / 1 年間 (返済不要)

**募集数** 令和6年度は両方で311名

## 夢を応援基金

「ひとり親家庭支援奨学金制度」では、  
北海道で14名に給付されました。

## 令和6年度も

道新振興基金さん、北洋銀行さん、  
みどりところの基金さんから  
助成をいただき、311名に奨学金が  
給付されました。

苦小牧市 千葉陽太さん

この度は、奨学金をいただき  
ありがとうございました。  
お礼がおそくなり申し訳ありません。  
貴には、自動車関係の会社の  
取締役が務められました。  
存続の理由は、仕事で一生懸命  
働いて頑張ったに思えます。  
頂いた奨学金は、これから自動車学校入  
学への、その費用に充てたいと思っております。  
本当にありがとうございました。

青洲工業高校 3年  
千葉 陽太

旭川市 原田実紀さん

社会福祉法人高田聖母学院福祉事業部  
理事長 本田 和子様

ご返信、大変ありがとうございます。  
誠にありがとうございます。  
高校3年になり、今年が、あっとい間に  
過ぎ、辛い勉強期、経験期には  
いづかに、なご終ります。今は、大層  
進捗に達して、日々通じております。  
卒業するまでに、沢山の知識と  
教養を身につけて、立派な社会人  
になれるように目標を定め  
それに、むき努力していきます。  
本当に、ありがとうございます。

高校3年 原田 実那

高校3年 原田 実紀

函館市 阿部映侑さん

掛巻  
 初秋の夕、窓櫺にのびたる夕蔭でご静讀のこと  
 お書き申し上ります  
 この度、貴女が望む學堂にも、ご支援いただき、誠にありがとうございます  
 こと、いまや、「學堂」に深く感謝申し上げます  
 貴女が、「學堂」の振興のために、高校生活より先だにも、「學堂」に  
 専心して、環境を整へてくださることを、私は将来、東京大学に  
 進学する、その古賀から願ひながら目標にしたいです。これからも、  
 努力を惜みず、一歩、一歩前進にのみ、邁進してまいります  
 今後とも、指導する親指の賜りも、よろしくお願い申し上げます  
 今か今年九月二、三日  
 秋具  
 阿部映伏

敬具  
阿却映備

社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会  
理事長 畑 和子 様  
奨学金の支援 ありがとうございます  
専門学校西学院 将来 保育士に  
なりたいと 思っています  
これからも がんばります

氏名 会田 光輝

小樽市 會田光輝さん

この奨学金の支援のおかげで、ありがたうござい  
ます。私は現在、伊達に位置なれる空間、高校  
に通っています。交通費や学費など出費は多く、  
金銭的な不安や学校の時には抱えておりました。  
しかし貴団体からの支援を受け、私の不安が少し和ら  
いだこと、言葉で毎活動から伝えることができました。  
今後様々な業種に活動したい努力を重ねていこうと思っ  
ています。重宝を御礼申し上げます。

90. 踏步花

伊達市 柴田歩乃花さん

## 研修室ガラスブロック窓交換工事完了



南窓の採光で  
明るい研修室になりました

落下事故の危険性が懸念された上記工事は10月7日着工され、11月8日竣工検査が終了となりました。



外観も素敵で、何より安心です



10月18日目録贈呈式



馬主協会助成金推薦委員の  
道共募常務理事天羽啓氏と

公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団では、社会福祉法人等に施設の設置、拡充又は改築、備品の購入等の助成事業を実施しています。

令和6年度に道母連が対象とな

り、北海道母子福祉センターのボイラー及び加圧給水ポンプ更新工事として、340万円の助成金をいただきました。

目録贈呈式は10月18日に日本中央競馬会札幌競馬場で開催され、畑理事長に授与されました。

当該工事は12月中に実施され完了しています。

## 令和6年度 馬主社会福祉財団より助成

## ランドセルいただきました！

奈良県の有限会社カザマ様よりランドセルのご支援をいただきました。全道各地の母子会の子ども達に多数のランドセルが届きました。心から感謝申し上げます。



希望のカラーで  
届きました

## おくやみ

ご逝去をいたみ謹んで  
ご冥福をお祈りいたします。

三上頭一郎さん 令和6年11月10日

元北海道副知事

元北海道空港社長

新千歳空港にカフェテラス Boren をオープンしたときの社長さんです。当時の役員が頭を悩ませ考えていたのが、カウンター販売のカフェでした。最終的に JAL 国内線出発カウンター前のロビー出店にご尽力いただき、開店早々からの売り上げ好調により、現在の母子福祉センター建設費の一部になりました。

## 編集後記

今年はどういう年になるのでしょうか。昨年は能登半島地震、記録的豪雨と度重なる災害に早目の復興を望むばかりです。第68回東北・北海道地区母子寡婦福祉大会では、行政説明、研修討議テーマにそった発表があり大変心に残りました。道母連だよりの編集でいろいろな話が出てとても参考になりました。人との関わりはどこでもあります。職場、地域等話を聞くと自分の知らない事もあり、自分にとっては得をした感じがします。職場で着付けをたのまれ出来ないとなつたのですが、結局着付けをすることになり、友人に何度か教えてもらい無事出来ました。やれば出来る、どこかで聞いた言葉ですが人は努力すれば出来るのです。年齢を重ねても努力をすれば出来るものです。将来夢を持っている子どもたちには、その夢に向かって進んでほしいです。それにはひとり親家庭が安心して生活が出来る状況である事を願っています。会員のみならず、楽しい母子会活動を広報部へお寄せ下さい。

(田中京子)